

地理歴史科『地理総合』

シラバス

北海道常呂高等学校

学年	2	単位数	2	授業形態	一斉
教科書 (出版社)	新選地理総合 welcome to geography (実教出版)		副教材等 (出版社)	コンパクト地理総合地図(山川書店)	
学習目標	○社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な形成に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
学習方法	○自分にとって効果的な知識の定着方法や勉強方法を確立するために書く、話す、調べる、資料を作る、発表する、反復するなど、多くの方法に挑戦する。 ○授業ごとの問いに対する考えをまとめることにより、考察力を身につける。 ○ワークシートで単元の振り返りを行い、自分の考えの整理や確認を行う。				
学 習 評 価	評価の観点		評価の観点の趣旨		
	ア	知識・技能	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせることができる。また、資料から情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。		
	イ	思考・判断・表現	地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題を把握して解決を視野に入れて構想することができる。また、考察を発表、議論することができる。		
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度がみられる。また、日本や他国とそれぞれの文化を尊重する姿勢がみられる。		
評価方法	①	②	③	④	⑤
観点	考査	課題の取組・作成物	発表	提出物の内容	授業の取組
ア	○	○		○	
イ	○	○	○	○	○
ウ		○	○	○	○

学習計画

学期	章	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ		
前 期 中 間	第1章 地図や地理情報システムでとらえる 現代世界	オリエンテーション			○		⑤
		1 球面と平面	○	○	○	地球儀と地図について理解している。	① ④ ⑤
		2 緯度と経度	○	○	○	緯度・経度と時差について理解している。	① ④ ⑤
		3 日常生活のなかの地図	○	○	○	日常生活で利用されている地図について活用できる。	① ② ③ ④ ⑤
		4 国家の領域と日本	○	○	○	国家の領域について理解している。	① ④ ⑤
		5 国家間の結びつき	○	○	○	国家間の結びつきについて理解している。	① ④ ⑤
		6 モノ・人・情報の グローバル化	○	○	○	国家間の結びつきについて理解している。	① ② ③ ④ ⑤
7 観光のグローバル化	○	○	○	世界の観光について各自で探究している。			
前 期 期 末	第2章 生活文化の多様性と国際理解	1 地形と生活文化	○	○	○	様々な地形の人々の生活を理解している。	① ④ ⑤
		2 気候と生活文化	○	○	○	ケッペン区分を理解している。	① ④ ⑤
		地理研究1 GISの活用	○	○	○	GISを理解し、活用することができる。	① ② ③ ④ ⑤

学期	章	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ		
後期中間	第2章 生活文化の多様性と国際理解	3 ヒンドゥー教と生活文化	○	○	○	ヒンドゥー教と生活文化について理解している。	① ④ ⑤
		4 イスラーム教と生活文化	○	○	○	イスラーム教と生活文化について理解している。	① ④ ⑤
		5 世界の多様な民族・言語	○	○	○	世界の民族・言語について理解している。	① ④ ⑤
		地理研究2 中国語入門	○	○	○	中国語（北京語）を活用することができる。	① ② ③ ④ ⑤
		6 他民族・多文化の共存	○	○	○	ヨーロッパ、アフリカの文化について理解している。	① ④ ⑤
		7 移民国家	○	○	○	アメリカ合衆国、オセアニアの文化について理解している。	① ④ ⑤
		第3章 地球的課題と国際協力	1 人口問題	○	○	○	人口問題について理解している。
	2 食料問題		○	○	○	食料問題について理解している。	① ④ ⑤
	3 環境問題		○	○	○	環境問題について理解している。	① ④ ⑤
	後期期末	第4章 自然災害と防災	ハザードマップを読む	○	○	○	自分の住んでいる町のハザードマップを読み取ることができる。
第5章 地域調査		北見市・網走市の人口調査	○	○	○	人口調査により地域探究を深めている。	① ② ③ ④ ⑤